



森 浩 議員

うに対応をしています。児童生徒の日常の生活で、どういじめのない学校づくりをしていくか、先生方も含めて目配りをしていただき、当然、家庭にも発信をしながら、家庭地域一帯となつてこれからいじめのない地域づくり、学校づくりを進めていきたいと考えています。

災害時の防災拠点

高橋隆文 議員

大規模停電等災害に対する防災拠点となる庁舎施設の対策についてですが、11月27日の暴風雪による送電用鉄塔倒壊により、胆振西部を中心とする大規模停電が発生し、一時5万6千戸に影響が拡大、300人近くが避難生活を余儀なく強いられました。

冬季異常気象による高齢者の停電対策

森 浩 議員

昨今の異常気象は想像を超える脅威があり、今までの経験では対応しがたい状況があります。

過日、暴風雪の影響で室蘭、登別で大規模な停電が起きましたが、当町においても起きる可能性は否定できないと思います。

特に、冬季で長期にわたる停電においては、高齢者世帯の方々に大きな不安があると思います。

暴風雪、停電についてどのような対応をお考えですか。

また、災害時要援護者登録者の状況とその方々の避難方法について伺います。

体庁舎が電源を失い、電話やネットワークが絶たれ、住民対応や関係機関との連絡で十分な役割を果たせなかつた課題も明らかになりました。

そこで、本町の大規模停電等による災害対応を円滑に進めるために、電話交換機やネットワークサーバーを維持する必要があります。防災拠点となる庁舎や施設等の対策についての対応がなされているか伺います。

林 直樹町長

本年度に非常時の停電に備え、発電機を接続するための庁舎非常用電源切替配線設備を整備しました。

大型発電機の価格は高額なこともあり、当初、非常時には業者から借り受けて使用する考えでいましたが、停電は、地震等による大きな災害に限らず起こりうるものですので、非常用発電機を購入することとして平成25年度当初予算に計上することとしています。本年度は、非常時に備え、

林 直樹町長

近年における気候は四季を問わず、これまでにない災害に繋がる異常なものであると私も思っています。

北海道の冬季における停電は、生活のほとんどを電気に頼って暮らす人々に与える影響は非常に大きく、そして生命にも危険を及ぼすものです。特に、高齢者、病気や怪我をされている方、また、身体がご不自由な方にとりまして、とても辛い思いをされることとなります。

ご質問は、停電時の対応の考えですが、今回の報道をみて、我が町であつたらどうなのだろうと考えていました。停電が修復するまでの間どう過ごすかが問題です。

住民の方は、暖のとれる方、とれない方、食料の心配のない方、食事ができない方、それぞれいらつしゃいます。町としては、暖をとれない方、調理・食料が調達できない方には避難所に避難して頂くことになると考えていま

浜小清水公民館及び止別公民館に、発電機、石油ストーブ、投光器、毛布等の防災用品を備えましたが、今後につきましても計画的に防災備品を整備していく考えです。

災害時には、関係機関のほか、防災機器取り扱い業者との協定を結んでいます。まずは、町自らが災害時に備えた体制整備を図ることが重要と考えますので、町民の安全を第一に考え万全を期していきたいと思っております。ご理解を頂きたいと思っております。

再問

高橋隆文 議員

登別市、室蘭市など、経済的な損失は勿論ですが、大規模停電等により市民生活に甚大な影響を及ぼしました。また、厳冬期においては寒さによる死亡など、最悪の事態も考えられます。

障害者、高齢者等災害弱者に対する対応等について伺います。また、大規模停電等に対す

る災害防災等のマニュアルについても伺います。

答

林 直樹町長

役場庁舎については、先程答弁したとおりですが、小清水中学校の体育館も、そういった災害時に発電機を接続し電源を確保できるように設計しており、暖房を確保できるようになっています。

弱者の方や高齢者の方、暖がとれない方などは、中学校の体育館の方で対応したいと考えているところです。

対応マニュアルをこれからどうするのかというご質問ですが、北海道の危機対策局危機対策課で北海道としてのマニュアルを策定しましたので、それを参考として、本町でもマニュアルを策定したいと考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。

最終的に登録された方は5名でした。

避難の方法ですが、町より避難準備情報が出された場合、避難支援者が避難所まで誘導をします。

このほか、支援者は、大地震が起きた場合の安否確認と災害状況の情報伝達を行うことになっていきます。

災害時の避難方法につきましては、高齢者の方のもとより町民皆様の安全を第一に考え、防災訓練等を実施するなど万全を期して参る所存でございますのでご理解をいただきたいと思ひます。



皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

編集 議会報編集特別委員会

委員長 森 浩

副委員長 槻間 善高

委員 下平 正吾、高橋 隆文、大石 誠示、工藤 孝一

記載内容については、議会事務局までお問い合わせ下さい。

099-3698 斜里郡小清水町字小清水217番地の1

TEL 0152(62)4477 議会事務局直通

【12月】

10日 議会運営委員会

13日 議会運営委員会 第6回町議会定例会

全員協議会

議員協議会

15日 小清水小学校新校舎オープニングセレモニー

町立学校建設整備特別委員会

委員会

21日 全員協議会

【1月】

5日 小清水消防団出初式

7日 町内新年挨拶

9日 町外新年挨拶

(網走市ほか)

13日 第65回小清水町成人式

21日 議会報編集特別委員会

経済厚生常任委員会

22～23日

総務文教常任委員会及び経済厚生常任委員会行政視察(釧路市)

23日 議員協議会

小清水町医療福祉問題懇談会

30日 小清水地区連合新春旗

開き